

摂食嚥下障害患者に対する 歯科医師の役割とは？



白十字病院歯科・歯科口腔外科部長

【講師】 **嶋村 知記 先生**

【ご略歴】

- 1989年 福岡歯科大学卒業(11期)
- 1994年 九州歯科大学大学院歯学研究科口腔外科学第1専攻修了
- 1994年 福岡大学医学部歯科口腔外科学講座助手
- 1998年 九州歯科大学口腔外科学第1助手
- 2005年 総合病院山口赤十字病院歯科口腔外科勤務
- 2008年 社会医療法人財団白十字会白十字病院歯科口腔外科勤務、現在に至る

【日時】 **7月29日(土) 18時～20時**

【会場】 **九州ビル9階大ホール**

福岡市博多区博多駅南 1-8-31 TEL092-461-1100

【定員】 **280名**

【会費】 **会員無料 会員外 8千円**

(この機会にご入会下さい)



私が勤務する白十字病院は466床を有する地域医療支援病院で、一般病床と回復期病床をもつケアミックス型の病院です。当院には脳血管疾患の患者さんや誤嚥性肺炎の高齢患者さんが非常に多く、急性期から回復期に至るまで入院治療を受けられています。

それらの患者さんの多くは摂食嚥下障害も伴っていますが、摂食嚥下機能回復リハビリテーションは多職種協働での対応が重要と考えます。多職種の構成は医師、言語聴覚士、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、歯科医師などです。

このチーム医療を必要とする理由は、障害の原因や部位が多岐にわたることと、職種が揃うことでそれぞれの専門性を活かしたアプローチができるからです。私も歯科医師の立場に関わり、約5年が経過しました。

チーム医療としての歯科の役割としましては、口腔ケアの実施・指導、義歯や歯周病治療、VE・VFなどの嚥下機能検査が中心になると思われます。そこで今回の講演では、これまで摂食嚥下障害の患者さんに対して自分が行ってきたことを事例にあげながら皆様にご紹介したいと思います。

【ご返信先 **FAX: 092-473-7182**】

7/29(土) 嶋村知記先生講演会ご参加申込書

TEL _____

医院名 _____

会員氏名 _____

